

2020中期経営計画

2020-2022年度

日曹商事株式会社

はじめに



日曹商事株式会社は、今後の10年を視野に入れ、2022年度(令和5年3月期)を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定しました。

現況はコロナ禍の厳しい環境下にあります。長期的にはモノからサービスへ、アナログからデジタルへの社会構造変化が一気に加速します。このような変化に対応すべく策定しました本計画を通じ、独創性にあふれ、信頼と実行力で社会に貢献できるビジネス創造型企業を目指します。

長期的なありたい姿

- 特異分野におけるリーディングカンパニー
化学品の枠に捉われない特異分野において、国際的にも優位な商社へ
- 人間力で豊かな未来社会に貢献できる事業会社
- 日曹グループの船頭役



上記のありたい姿を実現した結果として、
経常利益 10億円（3～5年以内での達成）

スローガン

Pride & Respect

～ プロフェッショナルとしての誇り そして 社会への敬意 ～

取組施策

- ① 戦略分野での事業力強化
- ② 独創性のあるビジネスの創出
- ③ 人間力と組織力の向上
- ④ 情報化社会への対応

2020中期経営計画

施策① 戦略分野での事業力強化

戦略分野：社会的ニーズの高まり、技術革新などによる潜在的な需要が創出される期待分野。収益拡大の柱として戦略的に取り組む。

アグリカルチャー

農薬中間体・原体
飼料添加物
畜産関連資材

環境

水処理剤・衛生関連
冷熱媒・新エネルギー
断熱材・樹脂・建材

ヘルスケア

ファインケミカル
医薬中間体
医薬品添加剤
海外受委託

ICT（情報通信技術）

半導体製造装置
電子材料
洗浄・UV装置
自動車関連

（日本曹達グループの事業ドメインと連動）

2020中期経営計画

施策② 独創性のあるビジネスの創出

成長の柱となる事業創出に取り組み、新たな付加価値を提供

- ブランドの創出：メーカーやアカデミアとの協業を図り、独自ビジネス創出
- 未開拓分野への取り組みにより、新たな成長・収益源への布石を打つ
- 事業買収・資本参加等の投資も引き続き視野に入れる

施策③ 人間力と組織力の向上

ステークホルダーから信頼される人材の育成、人材で勝てる会社に

- 社会や時代の流れに敏感な人材育成のためのグループ内交流の活発化
- シニアを有効に活用できる仕組みづくり
- コンプライアンス教育、ハラスメント対策の強化
- スペシャリスト および ゼネラリストのバランスの取れた確保と育成

施策④ 情報化社会への対応

時代にマッチした業務環境を整備し、ヒト・モノ・時間の有効活用

- DXの推進（リモートワークへの対応等）
- 新会計基準の確実な遂行

2020中期経営計画

本計画はコロナ禍の影響により減収減益としてスタートしますが、
最終年度(2022年度)には最高益を目指します。

2022年度目標

売上高	400億円以上
経常利益	8億円